食育月間
トークセッション

～毎日の「食べる」を見つめ直すきっかけがここに～

Athlete

桃野（ももの） 慎也（しんや）さん

農家×スノーボードクロス日本代表

夏は農家、冬はプロアスリートの二刀流を続ける桃野さんが語る、アスリートを目指すため必要な道産食材の力。

Riceball player

川原（かわはら） 悟（さとる）さん

北海道米の伝道師

お米文化を世界に発信し続けるライスボールプレイヤーが語る、私たちが生きるためにお米文化が欠かせぬ理由。

Food coordinator

菊田（きくた） ゆりかさん

離乳食研究家

子育てをきっかけに離乳食研究家として歩んだ菊田さんが語る、時短で子供が食いつく道産食材のレシピ開発。

2024. 6 .11 (Tue) 16:00~17:00

北海道庁本庁舎1階 交流広場

Hokkaido Government Office Main Building 1st Floor Exchange Plaza

入場無料 Free entry

農政部食の安全・みどりの農業推進局食品政策課

Let's think! FOODLOSS &WASTE

「食育基本法」に基づき国が策定している「食育推進基本計画」において、毎月6月は「食育月間」と定められています。
このため、食育月間スペシャルイベントとして、北海道を拠点に「食」に関する知識を活かし、様々な分野で活躍する講師を招いた、食育月間トークセッションを開催することとしました。

講師紹介

川原（かわはら） 悟（さとる）さん

世界のライスボールプレイヤー

お米の業界に関る事、四半世紀。国内外の飲食店に炊飯プロデュースを行う傍ら、世界中の様々な日本政府系イベントに召集される。
自身をライスボールプレイヤーと称し高速でおむすびをつくるパフォーマンスが評判を呼び、メディア出演など日本のお米文化を世界に発信する活動を続けている。
海外の大学でもおむすびやもちつきなどのワークショップも好評で特別臨時講師として様々な大学で講義をした経験を持ち、各市町村の食材を使ったレシピ監修やコンテストの審査員やプロデューサーなども務める。

桃野（ももの） 慎也（しんや）さん

農家×スノーボードクロス日本代表

スノーボードクロス日本代表、プロスノーボード協会理事。国内大会18連勝。
全日本選手権4連覇。W杯スペイン大会日本人初の8位。全米選手権優勝。
2020年北海道長沼町にて就農。4代目後継として、大豆・小麦・ブロッコリーを生産。
体づくりのために飲み始めた牛乳を原料としたホエイプロテインが体に合わず、大豆を原料としたソイプロテインに切り替えたところ調子が良くなったというきっかけから、農家としての使命を感じ、自らが育てる大豆を原料としたソイプロテインを開発。
全世界のみなさんに安心安全な北海道産のプロティンを届けるべく日々奮闘。

菊田（きくた） ゆりかさん

子育てフードコーディネーター

札幌を中心に、フードコーディネーター、料理研究家、料理講師、栄養士として活動。
幼い頃から料理上手な母の手伝いをする中で、食に興味を持ち始め、光塩学園女子短期大学食物栄養科に進学し、栄養士資格を取得。
卒業後はタレント活動の道を選び、レポーターとして北海道内の食に多く触れる。
突然「あれ、わたしの料理あんまり美味しくないかも?」と感じるようになり、本格的に食の勉強を始め、フードコーディネーター としてのスキルを磨き、企業のレシピ開発、撮影のスタイリング、テレビ出演などフードコーディネーターとして活躍。